

令和2年度  
主要施策の成果報告書

白井市

令和2年度主要施策の成果報告（重点戦略事業）

第5次総合計画における市の将来像「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向けた前期基本計画「戦略に係る実施計画事業」を中心に令和2年度の主要施策について報告します。

戦略1. 若い世代定住プロジェクト

柱1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進	7款4項1目	近居推進事業 〔建築宅地課〕	10,644	10,644	10,500	4,635	0	0	5,865	若い世代が親世帯の近くに住み、子育て面などでの負担軽減や互いに助け合い、安心して暮らせる「近居」というライフスタイルを推進し、若い世代の移住・定住を促進するため、市内に居住する親世帯と近居又は同居を目的として市内に移住した子育て世代に対し住宅取得費用の一部を補助する。 <b>(令和2年度)</b> 近居推進のPR活動、補助金の交付	●生涯学習課と連携し、新成人向けの啓発物資として制度のPRチラシを配布した。 ●住宅金融支援機構と「フラット35子育て支援型」及び親元同居近居支援補助金制度にかかる相互協力に関する協定に基づき前年度実施した電車内広告に加え、新たに東京駅1F改札内のデジタルサイネージ広告で当該事業の普及・啓発を行った。 ●23件の補助金の申請があり、若い世代の白井市への転入・定住を促進することができた。
子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備	7款4項2目	公園施設環境整備事業 〔都市計画課〕	16,786	71,093	14,850	4,000	0	0	10,850	子どもや障がい者、高齢者をはじめ、すべての利用者に配慮した環境を整備するため、子どもたちの遊具や健康遊具の設置、トイレの改修などを進めるとともに、公園施設の長寿命化計画を策定し、安全で快適な環境を確保する。 <b>(令和2年度)</b> 公園施設の長寿命化計画策定	●公園開設後15年以上経過した都市公園の公園施設長寿命化計画を策定した。 ●国の令和2年度補正予算に係る補助金等を活用し、事業を前倒して実施することとした。(令和3年度へ繰越明許)
みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進	4款1項4目	みどりと歴史文化の魅力づくり事業 〔環境課〕	102	0	0	0	0	0	0	子どもや若い世代が白井市の暮らしの良さを知り、実感するため、市の資源であるみどりや自然の中にある歴史文化にふれあう機会を推進する。 <b>(令和2年度)</b> 「ナゾキウォーキング」の実施	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業を中止した。 ●イベントを通じた市の自然や歴史文化にふれあう機会を推進することはできなかった。

柱2 働く場を生み出すまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
工業団地などにおける市民の雇用拡大	6款1項2目	雇用・労働支援事業 〔産業振興課〕	5,160	4,587	4,405	0	0	0	4,405	就業機会の確保、企業の雇用促進及び労働環境の整備を図るため、市無料職業紹介所における職業紹介、関係機関と連携した就職活動支援セミナーや労働問題に関する労働相談を実施する。 <b>(令和2年度)</b> 県機関、印西市、我孫子市、船橋市との共催による就職支援セミナーの実施	●無料職業紹介所の運営や各関係機関と連携し、就職支援セミナーを開催することで、市民雇用の拡大に寄与した。 ○千葉県ジョブサポートセンター出張版就職支援セミナー ・就労支援セミナー 年3回開催 参加者68人 ○ジョブカフェちば出張版 ・応募書類の書き方&応募前に知っておきたいワークルールセミナー 年1回開催 参加者9人
起業希望者に対する支援のしくみづくりや起業を意識した学習機会の提供	2款1項10目	起業学習・体験事業 〔市民活動支援課〕	102	102	0	0	0	0	0	若い世代等が自分らしく生きるヒントを得て、仕事や地域等で活躍するきっかけづくりをするため、青少年女性センター等との連携や起業家、市民等と協働し、講演会や体験・交流のできるイベントを実施する。 <b>(令和2年度)</b> イベントの実施	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業を中止した。

柱3 子育てしなくなるまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
利便性の高い場所での保育 機会の確保	3款2項1目	待機児童対策事業 〔保育課〕	99,146	101,253	98,408	51,159	0	6,102	41,147	<p>駅前や保育需要の高い地域において、3歳未満児を中心とする就学前児童を保育する小規模保育事業所等の誘致を図るとともに、市内私立保育園、私立幼稚園での保育の受け皿の拡大を図る。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●私立保育園における保育士確保等のための補助金及び定員数拡大のための既存施設建替えに対する補助金の交付</li> <li>●幼稚園での受入れ推進のための預かり保育拡充事業の実施</li> <li>●幼稚園等送迎ステーション事業を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複合型保育施設の開設に加え、既存保育施設の建て替え工事を行い、定員数の拡大を図った。</li> <li>●白井幼稚園での預かり保育拡充事業の継続、保育士の宿舍借り上げ、通勤用駐車場借り上げ支援、処遇改善に係る補助金の支給を行った。</li> <li>○複合型保育施設の開設</li> <li>・幼稚園等送迎ステーション（定員20人）</li> <li>・認可保育所（ひなた保育園・ふるてしろうい：定員19人）</li> <li>○既存施設整備</li> <li>・ひまわり保育園の認定こども園化（定員60人→定員77人）</li> <li>・預かり保育拡充事業の継続（白井幼稚園：定員18人）</li> <li>・保育士宿舍借り上げ事業、保育士通勤用駐車場借り上げ支援、保育士処遇改善事業費補助金の継続</li> </ul>
	3款2項1目	病児・病後児保育事業 〔保育課〕	10,089	10,089	9,793	3,427	0	912	5,454	<p>病気及び病後回復期の児童を一時的に預かり、仕事と育児の両立支援、安心して子育てできる環境を整えるため、病後児保育を継続するとともに、病気の回復期に至らない児童を保育する病児保育を実施する。</p> <p><b>(令和2年度)</b> 鎌ヶ谷総合病院で病後児保育、白井聖仁会病院で病児保育を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から感染対策を徹底した中で事業を実施した。</li> <li>○令和2年度は、前年度から利用者が238人減少し、年間の利用者は104人となった。</li> </ul>
子育てに係る経済的負担の 軽減	3款2項1目	子ども医療費助成事業 〔子育て支援課〕	261,946	259,992	189,903	49,423	0	8,796	131,684	<p>子育て支援として、子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもに係る医療費の助成を行う。</p> <p><b>(令和2年度)</b> 中学3年生までの全ての児童の入院・通院・調剤の助成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県の助成範囲に市独自の上乗せをしたことで、更なる子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図った。</li> <li>○県の助成対象者 通院・調剤：小学3年生まで（所得制限あり） 入院：中学3年生まで（所得制限あり）</li> <li>○市の助成対象者 通院・入院・調剤：中学3年生まで（所得制限なし）</li> </ul>



戦略2. みどり活用プロジェクト

柱1 「魅せる農」のまちづくり

(単位:千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
多様な形態の農業経営と担い手の支援	5款1項3目	育苗センター事業 〔産業振興課〕	-	470	428	428	0	0	0	老木化した梨木について改植しやすい環境を整え、梨の安定的な生産と農業収入の確保を図るため、梨の苗木を共同育成して、大苗になった段階で農業者に供給する「育苗センター」の運営を支援する。 <b>(令和2年度)</b> ●梨業組合による自立運営の支援	●苗木の安定供給・収入の安定化を図るため、千葉県補助金を活用することで、新たに133本分の育苗施設を設置し、既存の1,740本と併せて、1,873本の梨苗の育苗を開始した。 ●梨木の改植・新植に取り組む農家に対し、より安定的な梨苗の供給を行うことができるようになった。
	5款1項3目	援農ボランティア育成・就農支援事業 〔産業振興課〕	29	29	0	0	0	0	0	農業者育成の専門的知見を持つ民間農業スクール等と連携して就農希望者が基礎知識を習得できる講座を開催する。 <b>(令和2年度)</b> ●先達農家や農業経営コンサルティング等と連携した、就農希望者のニーズに合った講座の開催	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業を中止した。 ●農業委員会や県農業事務所と連携し、就農希望者に対して個別に農地の斡旋や独立に向けた研修先農家の紹介などの支援を行い、実際の就農に結びつけることができた。
農工商の連携による、農産物の高付加価値化やブランド化	5款1項3目	農産物ブランド化推進事業 〔産業振興課〕	4,641	942	863	0	0	0	863	主要農産物である梨のPR活動を行いブランド強化を図るとともに、販路、消費拡大を図る。また、自然薯を中心に新たな農産物についてもブランド化を図る。 <b>(令和2年度)</b> ●しろうの梨ブランド化推進事業実施業務の委託、今後のPR方針の検討 ●生産者と連携した、しろうの梨の試食PR等の実施 ●しろうの自然薯の試食PRの実施	●梨については、市HPでの情報発信やPR活動の支援、梨組合や市場等との連携を図ると共に、PR資材の製作等により消費拡大を図った。 ●自然薯についても情報等を共有し、PR、支援等を実施しながら消費拡大を図った。 ●「やおばあく」を中心とした農産物の販売やガイドブックの利用促進等により、産業・観光の促進を図った。

柱2 みどりが価値を生み出すまちづくり

(単位:千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
地域での環境保全や創出の取組みとしてのグラウンドワークの推進	4款1項4目	森のグラウンドワーク推進事業 〔環境課〕	209	209	77	0	0	55	22	市民・市民団体等と協働し、森などでグラウンドワーク活動を実施し、自然環境の保全と創作活動につなげる。 <b>(令和2年度)</b> ●市民がウォーキングできるよう神々廻市民の森の整備を行うとともに、神々廻市民の森の花の植栽活動を市民とともに実施 ●子どもや親子を対象としたイベントの実施	●市民団体等と協働で森入り口付近の花壇づくりを継続した。 ●千葉大学大学院生と共催による小学生対象のイベントについては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となったが、市民団体等が連携し地域の環境保全の取り組みへの関心やきっかけづくりに繋がった。
白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進	4款1項4目	環境学習推進事業 〔環境課〕	188	188	60	0	0	0	60	市民団体との協働・連携により、環境フォーラムや環境学習講座を開催する。 <b>(令和2年度)</b> ●環境フォーラム及び環境学習講座を実施 ●白井市内の生き物を庁舎内に展示し、白井市の自然の豊かさが学べるスペースの設置	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、市民団体等と協働で開催を予定していた環境フォーラムはパネル展示のみ開催した。 ●幼稚園と協働でやき台多目的広場に造成したビオトープを活用した講座を予定していたが、参加者を限定した管理作業を実施した。 ●市民団体と協働で市内2つの小学校で教育計画に基づいた体験等を取り入れた授業を実施した。 ●市内の水生生物の展示を行った。市民活動団体が実施している環境学習については共催は見合わせた。支援を行うなど、市の環境に理解・関心を持ち自然環境の豊かさを知り育むための学習の機会を提供することができた。

柱3 みどりがつながるまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用	7款4項2目	(仮称)谷田・清戸市民の森整備事業 〔都市計画課〕	5	5	0	0	0	0	0	地元代表者・関係団体等と市が連携・協働して、(仮称)谷田・清戸市民の森を整備する。 <b>(令和2年度)</b> ●整備予定区域の決定等に向け、環境部局との打合せの実施	●(仮称)谷田・清戸市民の森の整備範囲案案について地元代表者会議に提示した際の問題点や、良好な自然環境の保全についての対応等を環境部局と打合せを実施したが、今後の整備内容や整備水準について乖離が見られ、事業推進を図ることが出来なかった。
市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援	4款1項4目	沿道みどりの推進事業 〔環境課〕	504	504	431	0	0	400	31	団体による沿道での草花等の植栽・育成を推進し、緑による癒しの空間を広げ、ウォーキングや散策の活用等につなげる。 <b>(令和2年度)</b> ●植栽活動団体に対する草花等を購入する際に発生した費用に対する補助金の交付	●市内で植栽活動を行う46団体に上限1万円の補助金を交付した。 ●環境フォーラムで活動写真を掲載したパネル展示を行い、広く活動を知ってもらえた。 ●団体が自主的に取り組む活動を市が補助することで、地域ごとに草花等のみどりが広がり、景観の改善や地域住民の癒しの醸成・環境美化の意識の向上、地域コミュニティの活性化等に寄与した。

戦略3 拠点創造プロジェクト

柱1 都市拠点がにぎわうまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備	7款2項2目	工業団地アクセス道路整備事業 〔道路課〕	290,702	177,178	99,377	12,223	43,100	26,822	17,232	工業団地における産業の活性化を図るため、市道00-136号を工業団地へのアクセス道路として整備する。 <b>(令和2年度)</b> ●用地買収及び補償補填並びに道路改良工事を実施	●市道00-136号線(富塚地区)道路整備工事(盛土工事(8箇所)及び用地買収985.64㎡、建物工作物補償1ヶ所、電柱移設補償を行い、事業の進捗が図られた。

柱2 地域拠点がにぎわうまちづくり

(単位:千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳			一般財源	事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他			
小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会設立の支援	2款1項9目	まちづくり協議会設立支援事業 (市民活動支援課)	5,871	2,302	736	0	0	0	736	<p>小学校区を基本的な単位とし、地域の様々な団体・組織が、地域の課題やその解決方法について、話し合いや意見交換をする場を作ることにより、相互のつながりと意識の共有を図り、地域課題の解決に向けた「まちづくり協議会」の設立を支援する。</p> <p>また、小学校区内の住民の連帯意識及び自治意識の向上を目指して、小学校区内におけるコミュニティ組織の構築及び主体的なまちづくり活動に対する助成を行う。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●白井第三小学校区と大山口小学校区の2つのモデル小学校区がまちづくり協議会の設立を予定しているため、小学校区みんなでまちづくり補助金を新設</li> <li>●まちづくり協議会の運営の支援</li> <li>●引き続き他小学校区における意見交換会の実施</li> <li>●地域まちづくり活動補助金の交付</li> </ul>	<p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、当初の予定通り会議を行えなかったため、モデル小学校区の小学校区まちづくり協議会設立には至らなかったが、準備会(第三小学校区・大山口小学校区ともに6回)を実施し、第三小学校区では準備会のほか4つのグループに分かれ計13回の意見交換会を実施した。</p> <p>●地域活動からまちづくりを進めてきた第二小学校区においてまちづくり協議会設立準備会を発足し、2回会議を実施した。</p>
	8款1項4目	地域防災力向上事業 (危機管理課)	31,158	27,222	23,318	1,397	0	1,175	20,746	<p>災害時における地域防災力の向上を図るため、防災訓練や講演会などを通して市民の防災意識や防災知識を高め、自主防災組織の育成を促す。</p> <p>また、災害応援協定の締結、関係団体との連携強化、防災用資機材や非常食などの備蓄品の整備を行う。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●白井市地域防災計画の見直し</li> <li>●ハザードマップの作成、自主防災組織等への防災アドバイザー派遣制度の創設、ランタンライト・非常用給水袋・食料等備蓄品の購入</li> <li>●災害時において市民の生命及び生活を守るとともに、被害の低減を図り、大規模自然災害が起こっても機能不全に陥らない、安心安全な地域づくりを促進するための国土強靱化地域計画の新たな策定</li> </ul>	<p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、防災訓練等が中止となる中、防災アドバイザー派遣制度を創設し、防災に関する専門的な知識を求める自主防災組織等のニーズに対応できる体制を確立した。</p> <p>●地域防災計画を修正し、市の防災体制及び災害対策の実効性を高めると共に、国土強靱化地域計画を策定し、災害に強い街づくりを推進するための事業推進体制を確立した。</p> <p>●災害リスク等の周知のために令和3年度に全戸配布するハザードマップを改定し、防災啓発の充実に寄与した。</p> <p>●4団体との災害時応援協定等の締結や食料等備蓄品の更新、避難生活に必要な資機材等の購入により、防災力を強化した。</p>
市内の様々な場における世代に関係なく利用できる居場所や交流の場づくり	3款1項2目	地域生活拠点等整備事業 (障害福祉課)	4,873	4,873	4,468	2,141	0	0	2,327	<p>障がい者の緊急時の受入れや相談機能などの居住支援機能と地域支援機能を一体的に整備した地域生活拠点や共同生活援助施設等を整備するため、整備事業者に建設費等を補助する。また、地域生活拠点等に、地域生活を支援するためのサービス提供体制の総合調整を図るコーディネーターを配置する。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域生活拠点等において緊急時の相談・受入れを行う障害者等安心生活事業の実施</li> </ul>	<p>●地域生活拠点等において緊急時の相談を23件受理し、障がい者の地域生活への支援の充実が図られた。</p>
	介護会計 4款2項1目	集いの場づくり支援事業 (高齢者福祉課)	46	46	6	2	0	4	0	<p>高齢者を含む地域全体の絆づくりと支えあい機能の充実のため、地域の集いの場が活性化するように支援することで、市民が要介護状態等になることの予防又は要介護状態等の軽減・悪化の防止を図る。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●集いの場の新規立ち上げや継続に関する相談の対応</li> <li>●サロン(集いの場)代表者交流会の開催、運営に役立つ研修、情報交換</li> </ul>	<p>●8団体に出向き(参加者合計81名)集いの場開催にあたっての感染予防やフレイル予防の周知啓発に努めた。</p>

地域の人や地域の人のために身近な生活サービスを提供する地域拠点の形成	介護会計 4款3項1目	生活支援サービス体制整備事業 〔高齢者福祉課〕	6,259	6,259	3,650	2,108	0	1,542	0	<p>被保険者を含む高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援するため、要介護状態となることの予防または要介護状態等の軽減・悪化の防止に係る体制の整備その他これらを推進する事業を実施する。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援サービスの充実を図る生活支援コーディネーターの配置、協議体の運営委託</li> <li>●民間企業や団体等が普段の業務の中で高齢者を見守る、白井市高齢者見守りネットワークの運営</li> </ul> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、市民や高齢者にかかわる企業などが自由に参加して、地域の課題等について話し合うふれあい会議はすべて中止となり、協議体の運営は書面・対面会議を組み合わせて行った。</p> <p>●生活支援コーディネーターの活動としては、今までのふれあい会議参加者から外出自粛中の過ごし方についてメッセージを集めて、通信にまとめて発信し、参加者とのつながりが途切れないように努めた。</p>
地域の人や団体を活かした生きがいづくりや健康づくりの場の充実	9款5項1目	総合型地域スポーツクラブ支援事業 〔生涯学習課〕	61	61	37	0	0	0	37	<p>いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境を提供することにより、生涯スポーツの推進を図る。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツクラブの活動場所の確保</li> <li>●地域スポーツ指導者の核となる人材育成のための講座の受講の支援</li> </ul> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、学校体育施設等の開放が中止となったため、その期間は活動場所の確保が出来なかった。開放再開後は活動場所の確保支援、スケジュール作成や広報活動支援を行った。</p> <p>●平成30年度より県で実施している生涯スポーツ公認指導員養成講習会に移行し、受講者にテキストを支給して研修の受講を促すことで、生涯スポーツの推進が図れた。</p> <p>○活動クラブ数 5団体 会員数 669名 ○生涯スポーツ公認指導員養成講習会受講者 4名</p>
	4款1項3目	地域健康づくり事業 〔健康課〕	50	50	49	0	0	0	49	<p>健康づくりについては、市民一人ひとりの努力だけでなく、地域の力が有効に発揮され、地域住民が互いの健康づくりを支えあう環境を整える必要があるため、自治会をはじめとする地域団体や地域住民が主体的に地域ぐるみで運動などに取り組む機会やきっかけをつくることを支援する。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「白井梨トレ体操第2(愛称:白井なし坊体操)」を活用した地域ぐるみでの健康づくりの場を増やすための動きかけを、子育てサークルなどの既存団体に実施</li> <li>●イベント等に参加した市民の年代に合わせ、「白井梨トレ体操第2」だけでなく、「梨トレ体操」や「しろい楽トレ体操」を紹介するなどの他事業を連携させながらの、地域ぐるみでの健康づくり</li> </ul> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、人を集めたり、接触や声出しを伴う運動の実施が困難であった。</p> <p>●白井なし坊体操の普及については、感染防止に配慮した方法での実施を念頭に、梨業組合への協力依頼、市の広報紙やホームページ・地域新聞への掲載、YouTube等での配信、CDやDVDの配布などで周知啓発に努めた。また、健康課が実施する事業のBGMとして活用し、周知を図った。</p> <p>●自宅で行える運動をリーフレットや動画にして、ホームページに掲載するなど、運動の大切さについて情報提供を行い、コロナ禍においても健康を維持できるよう支援した。</p>
	9款4項1目	白井市民大学校事業 〔生涯学習課〕	558	558	58	0	0	0	58	<p>市民に様々なテーマで主体的に学習する機会を提供し、その学習成果をもとに、心身ともに健康的な行動を実践する人、地域に仲間がいる人、地域活動に意欲を持つ人を増やす。この目的に合わせて、いきいきシニア学部、ささえあい発見学部の2学部を設け、体系的な講座プログラムを組み、講座を開催する。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2学部合わせて35講座前後の講座の実施</li> </ul> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業は中止した。</p> <p>●特別講座として、オンラインでの受講が可能な講座を1回、YouTubeの使い方を学ぶ講座を2部制で1回実施した。</p> <p>●実施後は、自宅でも学ぶことができるよう、3本の動画をYouTube上に公開し、コロナ禍における学びの手段を提案する役割を果たした。</p> <p>○受講人数 第1回講座:20名(内5名オンライン受講) 第2回講座:17名(1部:10名、2部:7名)</p>
	介護会計 4款2項1目	介護予防自主グループ支援事業 〔高齢者福祉課〕	480	220	74	24	0	50	0	<p>高齢者が要介護状態等になることの予防又は軽減・悪化の防止を図るため、市民主体で介護予防活動を行う団体が増えるよう支援する。</p> <p><b>(令和2年度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自主グループとして筋力トレーニング「しろい楽トレ体操」を行う希望のある団体の募集</li> <li>●必要物品の貸し出しとサポーターの派遣</li> <li>●継続支援としての体力測定の実施、理学・作業療法士が団体に出向いての体操の支援</li> </ul> <p>●「しろい楽トレ体操」2団体が市の支援で立ち上がり、自主グループは合計で35団体になった。</p> <p>●自主グループへの継続支援として、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動を自粛するグループが大半だったが、その中でも、活動を継続した6グループに職員が出向き支援を実施した。</p> <p>●緊急事態宣言後、各グループ内で連絡を取り合ってもらい安否確認を実施。その中で体調不良等が確認された方は地域包括支援センターに繋いだ。</p>

柱3 拠点がつながるまちづくり

(単位：千円)

目標実現に向けた取組	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
コーディネーターの発掘・育成	2款1項9目	市民参加・協働の人づくり事業 〔市民活動支援課〕	143	143	92	0	0	0	92	地域づくりを活性化するため、地域のコーディネートをテーマとした職員研修や市民講座を実施し、職員・市民のコーディネート能力を育成する。 <b>(令和2年度)</b> ●職員、市民のそれぞれを対象に研修、講座の実施	●職員研修（参加職員14人）や、市民講座として地域づくりコーディネーター入門講座（参加者数14人）の開催により、職員・市民それぞれにおいてコーディネート能力の向上が図られた。
都市拠点と各地域を結ぶ道路ネットワークの整備	7款4項1目	道路ネットワークづくり事業 〔都市計画課〕	3,872	3,872	3,674	0	0	0	3,674	拠点がつながるまちづくりの実現のため、構想道路の計画化を進めるとともに、広域幹線道路や地域幹線道路と連携した効果的・効率的な市全体の道路ネットワークを構築する。 <b>(令和2年度)</b> ●今後の構想道路の計画化に向けた検討の基礎資料等の作成	●道路交通を取り巻く現状、市民の道路に対する満足度や要望等、道路交通に関する課題、構想道路の整備効果等について整理を行った。これにより、構想道路の計画化に向けた今後の検討事項等が明確になった。
	7款2項2目	市道新設改良事業 〔道路課〕	207,705	285,215	75,616	2,815	15,000	10,885	98,686	安全で円滑な道路交通環境を確保するため、道路の新設、歩道、拡幅整備を行う。 <b>(令和2年度)</b> ●市道12-002号線（白井市富士地先）外の一般市道拡幅等の道路改良工事並びに用地買収及び補償補てんの実施	●市道12-002号線（富士地区）拡幅・歩道整備工事（延長30.0m）、市道15-003号線（清戸地先）道路改良工事（延長106.0m）及びこれらに係る用地買収32.4㎡、建物工作物補償1ヶ所、電柱移設補償を行い、安全な道路環境整備の進捗が図られた。
利便性の良い交通ネットワークの確保	7款4項1目	鉄道交通推進事業 〔都市計画課〕	66	857	796	0	0	790	6	北総線運営対策をはじめ、便利で安全な鉄道交通の促進を図るため、鉄道沿線地域の活性化、鉄道会社への要望活動を行う。 <b>(令和2年度)</b> ●県・沿線自治体や関係団体と連携して、北総線沿線地域活性化協議会での取り組みの実施 ●北総線の利便性向上を図るため、機会を捉えた鉄道会社への要望活動の検討	●北総線沿線地域活性化協議会において、新たな生活様式に対応した沿線イベント等の後援を行った。 ●北総鉄道の企画乗車券等を広報・ホームページによりPRし、沿線地域の活性化に寄与することができた。
	7款4項1目	バス交通推進事業 〔都市計画課〕	54,661	59,779	57,514	0	0	1,260	56,254	交通不便地域の解消や公共交通の推進を図るため、循環バスを運行する。 また、運行内容については、地域公共交通活性化協議会を開催し協議する。バス交通を維持するため、市内にある車庫用地を市が借り受け、バス事業者に対して貸付けを行う。 <b>(令和2年度)</b> ●循環バスの運行、車庫用地の賃貸借 ●地域公共交通網形成計画の実施や循環バスのルート等の見直しの検討、実施	●コミュニティバスの継続的な運行により、交通弱者の移動手段の確保、公共施設の利用促進、交通不便地域の解消に寄与することができた。 ●コミュニティバスのルート及びダイヤの見直しをパブリックコメントによる市民参加手法を経て決定し、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みを進めることができた。

令和2年度主要施策の成果報告（重点戦略事業以外）

（単位：千円）

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	左の財源内訳				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
保育課	3款2項4目	放射能対策事業に要する経費	80	80	33	0	0	0	33	公立保育園の児童給食食材及び食育で育てた野菜などの放射性物質検査を週1回実施する。	●公立保育園の児童給食食材及び食育で育てた野菜などの放射性物質検査を週1回行い、給食食材の安全を担保した。
健康課	4款1項2目		30	30	6	0	0	0	6	福島第一原子力発電所の事故後、放射線に関する健康不安が高まっている。市民に対し、ホールボディカウンタ費用を一部助成することにより、放射線に関する過剰な不安を取り除き、安心・安全な生活を提供するための一助とする。	●甲状腺エコー検査費用の一部助成について2名から申請があり、助成を行った。結果は異常なし。 ●放射線に関する不安を取り除き、安全安心な生活を提供するための一助となった。
環境課	4款1項5目		2,123	2,043	1,301	1,301	0	0	0	市民の安全・安心を確保するため、公共施設における空間放射線量率の定期測定（モニタリング）や、公共施設及び戸建て住宅等において空間放射線量率が放射性物質汚染対処特措法の定める基準値を超えている場所の除染等を行う。また、除染に伴い発生した除去土壌を安全に保管・管理するとともに、処分が可能となった場合には適正に処分を行う。	●公共施設等については、基準値を超える空間放射線量が検出されなかった。 ●車庫保管に際し、土壌の流出や地下水の汚染は確認されなかった。
産業振興課	5款1項3目		651	653	515	0	0	0	515	放射能に関して、農作物等の風評被害の防止と市民（消費者）の不安を解消するため、農産物の検査を継続して行う。	●放射能検査を実施することで、市民が消費する食品等の安全安心が図れた。R2実績 5件（不検出 5件）
生涯学習課	9款5項2目		33	0	0	0	0	0	0	利用者の安全・安心を確保するため市民プールのプール水について放射能検査を実施する。	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度については市民プールの営業を中止したことから、実施しなかった。
給食センター	9款5項3目		232	232	165	0	0	0	165	東京電力福島第一原子力発電所事故における放射能汚染の不安を軽減するため、放射線量測定を行う。	●学校給食食材の安全性を確認したことにより、安全安心な給食提供ができた。